

VEGALTA VICTORY EXPRESS

Dec 7, 2019 No.15

☆予想スタメン☆

<仙台>

——11 石原直——38 長沢——
 ——15 吉尾——18 道淵——
 ——5 椎橋——17 富田——
 ——2 永戸——13 平岡——23 シマオ——4 蜂須賀——
 ——24 スウォビク——

<広島>

——39 ペレイラ——
 ——14 森島——40 川辺——
 ——18 柏——44 ハイネル——
 ——15 稲垣——6 青山——
 ——19 佐々木——23 荒木——2 野上——
 ——38 大迫——

(和)

☆今日の見どころ☆

長いレギュラーシーズンもついに最終節、広島との対戦である。広島は前の試合オウンゴールでの失点を挽回できず、残留争いをする湘南から勝ち点を奪えなかった。ACL 出場権争いから脱落し、モチベーション低下も否めない状況となっている。得点が奪えない試合が続いているが、個々の能力が高い選手も多く、油断は禁物である。

仙台は前節、ホーム最終戦でスカウティング情報を有効活用し、CKからのトリックプレーで道淵がファインゴールを決め先制、長沢の追加点で J1 残留を決めた。シマオ・マテを中心とした最終ラインでのディフェンスのみならず、前線からの守備、特に久しぶりの先発となった石原直のプレーも効果的であった。

今節も積極的な仕掛けを忘れずに今シーズンの得点パターンとなったセットプレーを獲得、自分たちのリズムで試合を進めたい。今年のチームでの最終試合、有終の美を期待している。

(和)

☆J1 順位表☆

2019 Jリーグ ディビジョン1 【第33節終了時点 11/30 現在】

順位	チーム	勝点	試合	勝	分	負	得点	失点	得失点
1	横浜 FM	67	33	21	4	8	65	38	27
2	FC 東京	64	33	19	7	7	46	26	20
3	鹿島	60	33	17	9	7	53	30	23
4	川崎	57	33	15	12	6	55	33	22
5	C 大阪	56	33	17	5	11	37	25	12
6	広島	52	33	14	10	9	44	29	15
7	大分	47	33	12	11	10	35	33	2
8	札幌	46	33	13	7	13	53	47	6
9	G 大阪	44	33	11	11	11	51	46	5
10	神戸	44	33	13	5	15	57	58	-1
11	仙台	41	33	12	5	16	38	44	-6
12	名古屋	37	33	9	10	14	45	49	-4
13	浦和	37	33	9	10	14	32	47	-15
14	鳥栖	36	33	10	6	17	32	52	-20
15	清水	36	33	10	6	17	44	69	-25
16	湘南	35	33	10	5	18	39	62	-23
17	磐田	31	33	8	7	18	28	47	-19
18	松本	30	33	6	12	15	20	39	-19

☆今節の試合☆

2019 Jリーグ ディビジョン1 【第34節】 12月7日(土)

14:00	札幌ー川崎 F	札幌ド	14:00	浦和ーG 大阪	埼玉
14:00	横浜 FMーF 東京	日産ス	14:00	松本ー湘南	サンアル
14:00	清水ー鳥栖	アイスタ	14:00	名古屋ー鹿島	豊田ス
14:00	神戸ー磐田	ノエスタ	14:00	広島ー仙台	エスタ
14:00	大分ーC 大阪	昭和電ド			

☆過去の対戦成績☆

【仙台の8勝16敗7分】

1996/11/30	天皇杯 3	広島ス	A	1,800	主審:小幡真一郎
●0-2	広島:高木、柳本				
1998/5/23	ナ杯 予	仙台	H	4,394	主審:北村央春
●0-1	広島:川島				
1998/12/20	天皇杯 4	愛媛	A	3,105	主審:北村央春
●0-3	広島:久保 2、ポポビッチ				
1999/4/7	ナ杯 1	仙台	H	3,674	主審:上川徹
●1-2	仙台:中島浩 広島:久保、森保				
1999/4/14	ナ杯	広島ス	A	3,906	主審:辺見康裕
●1-4	仙台:高田 広島:藤本、沢田、上村、ビドマー				
2001/12/9	天皇杯 3	広島ス	A	3,232	主審:田辺宏司
●0-1	広島:コリカ				
2002/8/3	J1-1st-12	仙台	H	19,491	主審:上川徹
◎4-2	仙台:小村、リカルド、マルコス、山下 広島:森崎和、藤本				
2002/10/5	J1-2nd-7	広島ス	A	6,724	主審:布瀬直次
□2v1	仙台:マルコス、藤吉 広島:トゥーリオ				
2008/5/6	J2 12	広島ビ	A	13,116	主審:小川直仁
◎1-0	仙台:中原				
2008/8/10	J2 30	ユアスタ	H	18,445	主審:田辺宏司
△1-1	仙台:菅井 広島:佐藤寿				
2008/11/9	J2 42	宮城ス	H	23,745	主審:鍋島將起
△1-1	仙台:菅井 広島:佐藤寿				
2010/7/27	J1 15	ユアスタ	H	12,139	主審:山本雄大
△1-1	仙台:関口 広島:OG				
2010/11/27	J1 33	広島ビ	A	16,448	主審:松村和彦
●0-1	広島:大崎				
2011/3/5	J1 1	広島ビ	A	18,709	主審:松尾一
△0-0					
2011/11/3	J1 33	ユアスタ	H	17,215	主審:岡部拓人
△0-0					
2012/6/6	ナ杯 予 5	広島ビ	A	7,234	主審:池内明彦
◎3-1	仙台:中原 2、ウイルソン 広島:清水				
2012/6/30	J1 16	ユアスタ	H	18,722	主審:吉田寿光
△2-2	仙台:ウイルソン 2 広島:佐藤寿、森崎浩				
2012/9/15	J1 25	広島ビ	A	25,352	主審:扇谷健司
●1-2	仙台:赤嶺 広島:森崎、高萩				
2013/7/17	J1 17	ユアスタ	H	11,755	主審:飯田淳平
●0-2	広島:石原、佐藤寿				
2013/10/26	J1 30	エスタ	A	17,184	主審:中村太
●0-1	広島:石原				
2014/5/18	J1 14	ユアスタ	H	18,863	主審:西村雄一
◎1-0	仙台:赤嶺				
2014/12/6	J1 34	エスタ	A	17,189	主審:東城穂
●0-2	広島:高萩 2				
2015/5/2	J1 1st 9	エスタ	H	15,566	主審:村上伸次
●0-2	広島:野津田、浅野				
2015/7/11	J1 2nd 1	ユアスタ	H	13,373	主審:西村雄一
●3-4	仙台:金園、ハモンロペス(PK)、山本 広島:佐藤寿 2、宮原、柏				
2016/4/1	J1 1st 5	エスタ	A	9,587	主審:松尾一
●0-3	広島:ピーターウタカ 2、茶島				
2016/8/27	J1 2nd 10	ユアスタ	H	14,468	主審:岡部拓人
●0-2	広島:青山、柴崎				
2017/4/22	J1 8	エスタ	A	10,814	主審:上田益也
△3-3	仙台:梁、三田、石原直 広島:柏、工藤、柴崎				
2017/8/13	J1 22	ユアスタ	H	14,258	主審:池内明彦
◎1-0	仙台:奥埜				
2018/5/12	J1 14	ユアスタ	H	15,115	主審:松尾一
●1-3	仙台:奥埜 広島:パトリック 2、柏				

2018/11/10 J1 32 エスタ A 13,091 主審: 飯田淳平
 ©1-0 仙台: 石原
 2019/5/12 J1 11 ユアスタ H 12,180 主審: 飯田淳平
 ©2-1 仙台: ハモンロベス、松下
 広島: ドウグラスヴィエイラ

(ふく)

☆ベガルタ仙台選手一覧☆

監督 渡邊 晋 (1973.10.10 東京都生まれ)				
No	ポジション	名前	身長/体重	前所属
2	DF	永戸 勝也	173/73	法政大
3	MF	飯尾 竜太郎	173/69	V・ファーレン長崎
4	DF	蜂須賀 孝治	180/76	仙台大
5	MF	椎橋 慧也	178/70	市立船橋高
6	MF	兵藤 慎剛	172/68	北海道コンサドーレ札幌
7	MF	関口 訓充	171/66	セレッソ大阪
8	MF	松下 佳貴	174/67	ヴィッセル神戸
9	FW	ハモン ロベス	185/79	柏レイソル
10	MF	梁 勇基	173/72	阪南大
11	FW	石原 直樹	173/63	浦和レッズ
12		サポーター		
13	DF	平岡 康裕	183/72	清水エスパルス
14	MF	石原 崇亮	172/67	松本山雅 FC
15	MF	吉尾 海夏	168/63	横浜F・マリノス
17	MF	富田 晋伍	169/64	東京ヴェルディユース
18	MF	道淵 諒平	177/74	ヴァンフォーレ甲府
19	FW	ジャーメイ ン 良	182/75	流通経済大
20	FW	阿部 拓馬	171/72	蔚山現代 FC /大韓民国
21	GK	関 憲太郎	178/78	横浜 FC
22	GK	川浪 吾郎	192/84	アルビレックス新潟
23	DF	シマオ マテ	180/78	アル アハリ /カタール
24	GK	ヤクブ ス ウォビク	190/82	シロンスク・ヴロツワフ /ポーランド
27	DF	大岩 一貴	183/78	ジェフユナイテッド千葉
29	FW	ジオゴ ア コスタ	184/79	デパ・アル・フジャイ ラ /UAE
30	MF	田中 渉	169/59	桐生第一高
31	DF	照山 颯人	182/70	成立学園高
33	DF	常田 克人	187/82	大分トリニータ
37	MF	中原 彰吾	170/68	北海道コンサドーレ札幌
38	FW	長沢 駿	192/82	ヴィッセル神戸
39	DF	金 正也	183/74	ガンバ大阪
	GK	小畑 裕馬	183/79	ベガルタ仙台ユース (二種登録)
	MF	工藤 真人	171/71	ベガルタ仙台ユース (二種登録)
	FW	清水 一雅	168/66	ベガルタ仙台ユース (二種登録)
	MF	鈴木 史哉	163/57	ベガルタ仙台ユース (二種登録)

☆広島選手一覧☆

監督 城福 浩 (1961.3.21 徳島県生まれ)				
No	ポジション	名前	身長/体重	前所属
1	GK	林 卓人	188/87	ベガルタ仙台
2	DF	野上 結貴	180/72	横浜 FC
3	DF	エミル サ ロモンソン	182/73	IFKヨーテボリ /スウェーデン
5	MF	吉野 恭平	182/75	京都サンガ F.C.
6	MF	青山 敏弘	174/75	作陽高
7	MF	野津田 岳人	177/72	ベガルタ仙台
13	DF	井林 章	179/70	東京ヴェルディ
14	MF	森島 司	175/66	四日市中央工高
15	MF	稲垣 祥	175/70	ヴァンフォーレ甲府
16	FW	渡 大生	176/70	徳島ヴォルティス
17	MF	松本 泰志	180/69	昌平高
18	MF	柏 好文	168/62	ヴァンフォーレ甲府
19	DF	佐々木 翔	176/70	ヴァンフォーレ甲府
20	FW	ドウグラス ヴィエイラ	189/82	東京ヴェルディ
21	GK	廣永 遼太郎	186/80	FC東京
23	DF	荒木 隼人	185/75	関西大
24	MF	東 俊希	180/69	サンフレッチェ広島ユース

25	MF	松本 大弥	180/73	サンフレッチェ広島ユース
27	MF	清水 航平	169/68	清水エスパルス
30	MF	柴崎 晃誠	176/65	徳島ヴォルティス
38	GK	大迫 敬介	186/86	サンフレッチェ広島ユース
39	FW	レアンドロ ペレイラ	190/76	松本山雅 FC
40	MF	川辺 駿	178/70	ジュビロ磐田
44	MF	ハイネル	172/64	トンベンセ/ブラジル
	MF	土肥 航大	176/62	リップエース SCJr ユース(二種登録)
	FW	鮎川 峻	162/60	FC FERVOR 愛知(二種登録)

☆募集中のアウェイツアー☆

今シーズンのJリーグは、優勝と残留争いが混戦となり、最後まで目がはなせない状況でした。ベガルタも前節大分戦で10季連続の残留を決めました。おめでとうございます。

開幕当初低迷が続く、一時は最下位に落ちました。当然ながら監督に対する批判も多くなりました。5月アウェイツアー清水戦の帰りのバスで「負けて気分が悪くて批判ばかりするなら、サポーターをやめなさい」と私は言いました。

それでも気持ちを切り替え応援し続けるということはベガルタを好きでたまらない「にわかファン」ではないということであり、その気持ちが残留につながったと考えます。

今シーズンも最終ゲームに多くの方々に参加をいただきありがとうございます。それでも来シーズン終了後、定年となります。アウェイツアーもどうなるかわかりませんが、ベガルタを応援する気持ちに変わりはありません。今日の広島戦に勝利しシーズンを気持ち良く締めくくりましょう。

ベガルタ課長 片桐正弘

☆編集後記☆

今年一年間、なんとかVVEを15号まで発行することができました。この場をお借りしてこの1年間、VVEの発行に多大なるご協力を頂いた関係者の皆さんに感謝するとともに、毎回ツアー参加者の皆さんにVVEを印刷配布して頂いた東武トップツアーズの片桐課長に御礼したいと思います。

私が選ぶ今年の MVP

個人的には、シマオマテ選手。最初、ボランチで出たときはそのままやっていけるのか、とかなり心配していましたがセンターバックになってからは相手チームの攻撃陣に対するフィジカルの強さが際立ちました。また、平岡選手とのコンビネーションは抜群でした。来年も二人でセンターバックを組んで欲しい。

(さ)

個人的な MVP には長沢選手を挙げたいです。献身的な動きで周囲を助ける場面が多く、得点数以上に貢献度が高かったと思います。今季は攻撃陣にケガ人が多かっただけに、年間を通じて活躍したことも評価したいです。

(ケイン)

私が選ぶ MIP 平岡康裕選手

シマオマテ選手とのコンビは抜群で、守備の安定をもたらした。時折攻撃参加することもあり、効果的なロングパスもあった。関口選手と迷ったが、J1 通算 300 試合出場達成の記念のシーズンでもあり MIP に選んだ。

ベストゴール

第 31 節清水戦の関口選手のゴール前からのプレスでボールを奪取してからのタッチ数が少ないパスをつないでのゴールが素晴らしかった。

ベストゲーム 第 27 節横浜 FM 戦

引き分けではあるが、優勝するであろう横浜 FM と終了間際に追いつき引き分けたゲーム。大岩選手をサイドバックに起用して守備重視で臨んだと思われ、最少失点で食い止め、終盤はチャンスも数多く作った。

(H.M.)

☆皆さんだったら、今年のベガルタ仙台の MVP/MIP は誰を選出しますか？

今季は残留という文字が常につきまといました。ようやく安心できましたね。最終戦、楽しんできてくださいませ。来季はタイトル争いをしたいものですね！

(ふく)

☆来年シーズンに繋ぐためにも今日は勝って終わりたい。

☆来年こそは、一桁順位で終われますように！！